

AI、フィンテックなどの注目業界から半導体、

機械などの従来型の業界まで50種を網羅

CHINA INDUSTRY MAP

NNA 中国業界地図

2020
年版



業種数

50

業種

収録企業数

1000

社

クラウド、ビッグデータ等最新注目業界関係者による
中国市場の現状分析、将来展望などについての
インタビュー記事も収録

中国業界地図内容

本書の見方

16
半
導
体

業界解説

中国半導体産業は、国家による振興政策の下、2桁の成長を続けてきた。中国半導体協会の統計によれば、2009年から2018年までに中国のICの売上規模は1,109億元から6,531億元となり、その期間における年平均成長率は21.8%となっている。2018年第4四半期における半導体不況の影響を受け、中国IC産業もその成長速度を緩めた形となったものの、対前年比20.7%であった。半導体産業の売上げの内訳は、チップ設計は約2,500億元、ウエハ製造が約1,800億元、組み立て、検査が約2,200億元となっている。

半導体産業の集積地は北京を中心とする周辺地域、上海を中心とする長江デルタ地域、深センを中心とする珠江デルタ地域、四川、重慶を中心とする中西部が主となっている。また、年商1,000万元以上の規模の企業は、2018年時点で1,000社弱存在している。

中国の個別業界の市場規模、発展経緯、参加プレイヤー数などの基本情報について記載

ファブレス

<p>①北京紫光展锐科技 有限公司</p> <p>2013年設立。中国の半導体大手紫光集団の関連企業。米インテルの資本参加。移動通信等の領域で採用されるICの開発設計を行う</p> <p>URL www.unisoc.com/cn</p> <p>従業員数 4500人</p> <p>所在地 北京市</p>	<p>②北京兆易创新科技 股フン有限公司</p> <p>2005年設立。同社の前身是北京芯捷佳慧電子科技で、IC設計を行う企業である。2016年に上海証券取引所に上場</p> <p>URL www.gigadevice.com</p> <p>売上高 22.5億元(2018年)</p> <p>所在地 北京市</p>	<p>③深セン市海思半導体 有限公司</p> <p>1991年設立。前身は華為電路設計中心で、2004年に現在の社名に変更。米国シリコンレー、スイス等に設計部門を持つ</p> <p>URL www.hisilicon.com</p> <p>従業員数 7000人超</p> <p>所在地 広東省深セン市</p>
<p>④格科微電子(上海) 有限公司</p> <p>2003年設立。国内はもとより、インド、台湾、シリコンレー等に拠点を保有。主にイメージセンサー等の開発販売を行う。2019年中国IC設計企業の10位に選定された</p> <p>URL www.gcoresinc.com</p> <p>資本金 1180万米ドル</p> <p>所在地 上海市</p>	<p>⑤深セン市中興微電子 技術有限公司</p> <p>2003年設立。ZTEを大株主とする企業。通信ICチップの開発を専門とし、研究開発人員は2,000人超</p> <p>URL zxic.zte.com.cn</p> <p>資本金 1.3億元</p> <p>所在地 広東省深セン市</p>	<p>⑥熙智補(中国)管理 有限公司</p> <p>2006年設立。世界的な半導体メーカーであるオランダのNXP Semiconductors(旧フィリップス)による中国法人</p> <p>URL www.nxp.com</p> <p>資本金 94.1億米ドル</p> <p>売上高 (2018年金社連結)</p> <p>所在地 上海市</p>

業界を代表する約20社を網羅

ファウンドリ

<p>⑦深セン市匯頂科技 股フン有限公司</p> <p>2002年設立。上海証券取引所に上場。IC設計開発を行う企業。顧客にはOPPO、テック、アマゾン、デル、ノキアなど有名企業が名を連ねている</p> <p>URL www.goodix.com</p> <p>売上高 37.2億元</p> <p>所在地 (2018年全社連結) 広東省深セン市</p>	<p>⑧北京宸威科技有限公司</p> <p>2015年設立。世界でも有数の米国イメージセンサーメーカーであったが、2015年に北京の地産会社に買収された。2018年には親会社が上海匯頂半導体に買収された</p> <p>URL www.ovt.com</p> <p>資本金 13.0億米ドル</p> <p>所在地 北京市</p>	<p>⑨三星(中国)半導体 有限公司</p> <p>2012年設立。韓国サムスンの中国における独資会社。ICチップの製造。封入、検査を行う最新設備を導入され、サムスンの海外製造拠点としては最大規模</p> <p>URL www.samsung.com</p> <p>資本金 59.6億米ドル</p> <p>所在地 陝西省西安市</p>
<p>⑩上海華虹宏力半導体 製造有限公司</p> <p>2013年設立。華虹1半導体有限公司の関連会社。NECも一部資本参加している</p> <p>URL www.huahonggrace.com</p> <p>売上高 9.3億米ドル</p> <p>所在地 (2018年グループ連結) 上海市</p>	<p>⑪台積電(中国)有限公司</p> <p>2003年設立。台湾積体電路製造の中国独立法人。同社の製造はPC、通信機器等各方の工業製品に使用されている</p> <p>URL www.tsmc.com</p> <p>売上高 10.3億米ドル</p> <p>所在地 (2018年グループ連結) 上海市</p>	<p>⑫江蘇晶電科技</p> <p>⑬中芯電投投資</p> <p>⑭中芯國際集成電路製造 (上海)有限公司</p> <p>2000年設立。中芯集電投資(上海)の関連会社。世界的なファウンドリー企業の一つ</p> <p>URL www.smic.com</p> <p>資本金 3.4億米ドル</p> <p>売上高 (2018年世界連結)</p> <p>所在地 上海市</p>

最新のアライアンス(緑)、買収(橙)、合併(橙)、投資(青)、株主(赤)などの企業間の関係を示す

業界動向

聯發科技が5Gチップ発表、世界最速 2019年11月28日
 康佳集団、半導体の後工程工場を新設 2019年11月27日
 アリババがAIチップ発表、TSMCが受託 2019年9月27日
 ICの華虹集団、無錫に12インチ対応工場稼働 2019年9月19日
 紫光集団、重慶にDRAM工場建設へ 2019年8月29日

NNA記事から抜粋した業界関連ニュースで最近の業界動向を把握

定義

半導体の設計、製造を指す。半導体の種類はディスプレイ、IC、光半導体等にわかれる。本書におけるICチップは以下の4差種に分類される。①ファブレス(開発設計のみ) ②ファウンドリ(製造設計のみ) ③OSAT(封入検査) ④IDM(開発製造一括型)

中国統計局が示している業界の定義を記載(AI、クラウド、ビッグデータ、フィンテック、動画配信サービス、介護を除く)

⑬杭州士蘭微電子股フン 有限公司

1997年設立。上海証券取引所に上場。ICの設計等を主要業務とする企業。350人超のICチップ設計開発研究開発および、1,500人超の封入検査技術開発を擁する。

URL www.silan.com.cn

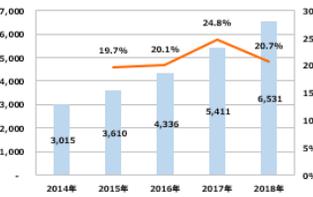
売上高 30.3億元(2018年)

所在地 浙江省杭州市

企業概要
 国籍
 URL
 売上高
 所在地
 などの基本企業情報を掲載

市場概況

半導体市場規模推移及び前年比伸び率



主要企業市場シェア(2018年売上高)



出所：中国國家統計局、中国工業・情報化部

業界の市場規模、シェアなどを記載

OSAT

企業名	設立	概要	売上高 (2018年)	所在地
⑧ 迪富微电子股分有限公司	1994年	南通迪富微电子集团の関連会社となっている	72.2億元	江蘇省南通市
⑧ 天水華天科技股分有限公司	2003年	2007年深セン証券取引所に上場。同社の主要事業は半導体の封入技術	71.2億元	甘肅省天水市
⑧ 江蘇長電科技股分有限公司	1998年	1998年設立。2003年上海証券取引所に上場。世界でも数社のOSAT企業。従業員4割が技術系社員で構成	238.6億元	江蘇省蘇州市

IDM

企業名	設立	概要	売上高 (2018年)	所在地
⑧ 杭州士藍微电子股分有限公司	1997年	1997年設立。上海証券取引所に上場。ICの設計等を主要事業とする企業。350人超のICチップ設計開発研究開発および、1,500人超の封入検査技術開発を擁する	30.3億元	浙江省杭州市
⑧ 華大半导体有限公司	2014年	2014年設立。中国電子有限公司の関連企業。以下に16の関連企業を保有し、その総資産額は100億元超	100億元超	上海市
⑧ 北京智芯微电子科技有限公司	2013年	2013年設立。国家重点ICチップ設計企業、ICチップの開発、生産能力を有する	50億元	北京市

企業名	設立	概要	売上高 (2018年)	所在地
⑧ 英特爾半導体(大連) 有限公司	2006年	2006年設立。インテル社の中国法人。300ミリウエハーに対応の半導体製造拠点。	70.8億米ドル	遼寧省大連市
⑧ 威爾聯合半導体(北京) 有限公司	2001年	2001年設立。高周波デバイスを設計製造する米Qorvo社の関連会社。資本金は3,800万ドル	30.9億米ドル	北京市



主要企業の所在地を地図上に表示

中国が先行、日本企業にも参入機会

人工知能（AI）の出現は1950年代にまでさかのぼることができる。AIの研究成果を発表し合う研究発表「ダートマス会議」は56年に開催された。それ以来、AIに関する学术论文は存在したものの、特許出願が急増ようになった2000年以降にようやく流行し始め

た。コンピュータの処理能力の向上によって、クラウドコンピューティングサービス（インターネットを介して利用できるITリソースとアプリケーションのオフライン配信を提供する従量課金制サービスの総称）やビッグデータを瞬時に扱えるようになり、AIは従来技術として産業に導入できる段階まで来た。無人小売店、自動運転車まで応用分野が広

応用分野でリード

大手会計事務所PwCの調査によると、30年までにAIは世界経済に15兆7,000億米ドル（約1,727兆円）分の貢献をすると予測されている。PwCのTMT（テクノロジー・メディア・通信）部門グローバルリーダー、周偉然氏は



PwCのTMT部門グローバルリーダーの周偉然氏（NNA撮影）

「中国、米国、日本の3か国が、世界のAIエコシステムの形成に重要な役割を果たすだろう」と分析した。

AI産業はAI基盤（AIチップ、アルゴリズム、スマートセンサーなど）、AI技術（音声認識、画像・顔認識、文字認識など）、AI応用（スマートロボット、セキュリティ、金融、小売、交通など）の3つに大きく分けることができる。

マイクロソフト（中国）終身名誉総裁の唐駿氏は「米国は基盤と技術分野、中国は一部の技術と応用分野でそれぞれトップを走っている」と話し、応用分野において「中国は日本やドイツなどの欧州先進国よりも進んでお

Sample

注記事項

- ※ **企業の選定について**：記載される企業は、各業界における売上高の高い企業またはNNAの基準で選定した有力企業である。企業構成は、ローカル企業を中心とし、一部影響力の大きい海外企業を加えたものとなる。
- ※ **企業の基本情報について**：各企業の紹介、所在地、URL、売上高等は企業のホームページより作成したものである。なお、記載した企業のURL、所在地等は本レポートを作成中に取得したものであり、閲覧する際にアクセス不可、または連絡先が変更される可能性がある。
- ※ **企業の資本金及び設立年について**：各企業の資本金、設立年は国家市場監督管理総局の登録資料により作成したものであり、企業のホームページで記載されている当該データと異なる場合がある。
- ※ **企業国籍について**：各企業の国籍は株主構成から判断したものである。台湾企業については中国の国旗を表記している。
- ※ **グラフの小数点について**：各円グラフに記載されている数値については、小数点第一位以下を四捨五入しているため、合計値が100%等にならない場合もある。
- ※ **業界動向の出所について**：業界動向に記載した記事は「NNA POWER ASIA PLUS」に基づき作成したものである。

目次

業界地図内容	5
---------------	---

注記事項	7
-------------	---

業界特集

① AI	中国が先行、日本企業にも参入機会	9
② フィンテック	キャッシュレス社会へ跳躍、フィンテック2強の経営に迫る	12
③ ビックデータ	データ資源大国、応用分野で日本と連携できる	15
④ クラウド	アリババがリード、日本企業の参入機会も	18
⑤ 介護	中国介護に日本の知恵が必要、ソフトパワー輸出	21

	1 ビックデータ	25
	2 クラウド	27
インターネット・通信	3 Eコマース	29
	4 AI	31
	5 動画配信サービス	33
	6 ゲーム	35

	7 フィンテック	38
金融	8 銀行	40
	9 証券	42
	10 保険	44

自動車・船舶

11	自動車	47
12	自動車部品	49
13	自動運転	51
14	オートバイ	53
15	造船業	55

電子機器

16	半導体	58
17	電気機械	60
18	通信機器、PC及其他電子機器	62
19	計測器	64

不動産・建築

20	不動産	67
21	住宅・施設建設	69
22	土木エンジニア	71
23	設備工事業	73
24	内装・外装業	75

娯楽・サービス

25	ウェディング	78
26	介護	80
27	広告	82
28	倉庫	84
29	郵政・宅配業	86

医薬・食品

30	製薬	89
31	化粧品	91

医薬・食品

32	オーラルケア	93
33	農産品副食品加工	95
34	食品	97
35	ソフトドリンク	99
36	酒業	101
37	たばこ	103

化学

38	化学肥料	106
39	化学繊維	108
40	合成材料	110

その他の製造業

41	紡績	113
42	アパレル	115
43	皮革製品・靴等	117
44	木材加工業	119
45	ゴム製造	121
46	プラスチック製造	123

卸売・小売

47	卸売業	126
48	小売業	128

宿泊・飲食サービス

49	宿泊業	131
50	飲食業	133

免責事項

		135
--	--	-----